

# 福竜丸だより

都立・第五福竜丸展示館ニュース

(財) 第五福竜丸平和協会

〒136 東京都江東区夢の島3-2  
都立・第五福竜丸展示館内  
電話 (521) 8494

## ビキニ水爆実験の世界的意義

新村 猛

第三回国連特別軍縮総会に参加することを急に決めただけでなく、今年二月二日に発足した「SSDⅢ」に向けて行動する会」の団長という資格で、一〇年振りにニュー・ヨークへ旅行することになった時、私は世界連邦政府を目ざす運動に尽力して来られた湯川スミさんに参加と随行を勧誘したところ、幸いに賛同を得ることができ、往復ともに旅行の伴侶としてほぼ一週間を過す廻りあわせになった。

湯川スミさんは、ここに附記するまでもなく、七年前の初秋、京都で他界した湯川秀樹君の未亡人であり、湯川(旧姓小川)君は大正八年四月以来の旧友であったが、中学校・旧制高校・大学という順序で上級に進学するに従って交際が疎遠になって行った間柄を再び元に復させる機縁をつくってくれたのは核兵器廃止運動であり、しかもその端緒は昭和二九(一九五四)年三月一日のビキニ環礁における水爆実験にほかならなかつたのである。

## 榎山副会長逝去

本協会副会長榎山義夫氏は、七月二十一日逝去されました。三宅会長の追悼文三面

### 「ビキニ水爆被災事件を学ぶ」開く

第五福竜丸・高校生のつどい

夏休みの展示館は、ノート片手に熱心に見学する高校生の姿が目立ちます。都内のいくつかの学校が夏休み中の課題として数人の班による「研修」をすすめているのです。今年はその輪が一層ひろがりました。



ビキニ水爆被災事件を学ぼう、高校生のつどい

八月三日、埼玉・千葉・高知の高校生平和ゼミナールのよびかけで、展示館で「第五福竜丸・高校生のつどい」がひらかれ、高知から14名の高校生はじめ、千葉・東京から約20名の高校生が集いました。全員で館内を見学したあと、三班にわかれてテーマ別学習。元第五福竜丸乗組員大石又七さんを囲んで船上で「第五福竜丸の過去と現在」をテーマに証言に耳を傾けるグループ。当時東京都衛生局に勤務し、放射能検査にあたった海沼勝さんを中心に「汚染マダゴロ検査と食品汚染」を学習するグループ。俊鶴丸乗組記者だった加藤地三さんを囲み「政府調査船俊鶴丸の航跡」をテーマに話合ったグループ。助言者の先生の熱弁の中、被爆線量 放射能測定 など、むずかしい問題にも一生けんめいとりくみ、意見を交流しました。ビキニ被災船を追い、乗組員を

### 俊鶴丸の放射能測定器寄贈

七月二十二日、岡野真治さん(元理化学研究所)より俊鶴丸のシンチレーション・カウンタが寄贈されました。当時、日本に一台しかなかった

訪ねてその被害の実態と声を調査しつづけた幡多高校生ゼミナールの活動記録はじめ、各県の代表の報告もおこなわれました。「焼津の久保山すずさんを訪ね、地元の高中生とも交流して広島にいく。被災船追跡調査の輪を全国にひろげたい」と目を輝かせた高校生が印象的でした。

また、七月十九日には、日米文化センターの招きで来日、一カ月余広島はじめ各地で研さんするアメリカの高校生九名が来館。ワシントンの高中生四百人が一年がかりで折ったという二千羽の折り鶴を贈り「福竜丸の被害を全生徒に話したい」と熱心に見学しました。八月五日、歴教協の約五十名の先生が見学。平和教育には事実を直接見、肌で知ることが大切。船と未来を語ろうと交流しました。

たこの測定器は、岡野さんが作ったもので、俊鶴丸のデッキにとりつけられ、岡野さん自身の手でビキニ海域の放射能測定がおこなわれました。高さ一メートル余、オシログラフもついてまだ動きそうです。俊鶴丸のパネルの前にしっかり展示されました。

よりも女性がひどくおられます。最近放射能が胎児に影響するのをきらって欧州では、こどもを生まない運動が広がっているという聞か、もっともなことと思うわけですが、核の脅威がなくなるまでは、安心してこどもを生むことも育てることもできないのは、女性の事態として当然のことだと思います。

前記のことを考えてみます。放射能による被害を人類はよく知ってはいないのです。戦争の脅威・原発の脅威と人類が歩んで行く道は極めてきびしい状態であると思います。

しかしながら、人類がおのれの欲望をおさえて全人類の幸福のためにということでは、前記は洋々たるものと思いません。ですからこれからの世の中は、主義・主張・民族・宗教・国境をこえて、人類がむつみあって行くことが、この地球上に生きてゆく唯一の道だと思えます。(長崎被爆者手帳友の会会長)

ざして努力を共にしようと思えたのである。

湯川君夫妻は昭和二三年に招かれて渡米し、湯川君がプリンストン大学附属研究所でアインシュタインと共に一年間専門研究を進めたのちも夫妻は近辺のニュー・ヨーク市に居住していたので、二人の理論物理学者の間に親交が結ばれるに至った。そして、数年の滞在を経て夫妻が帰国した昭和二八年はビキニ実験の前年に当たったわけである。翌年二九(一九五四)年三月一日、米

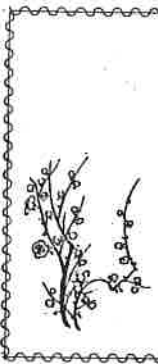
国政府がビキニ環礁で水爆の実験を敢行し、その結果、日本の漁船第五福竜丸がいちじるしい災害を受け、久保山愛吉無線長(半年余りのち死亡)を始め数多くの乗組員が実験に伴う放射能を浴びて身体に障害がひき起された事実を知った時、原子爆弾の製造をルーズヴェルト大統領に進言して採用された経歴を持つアインシュタインは、愕然として、核兵器製造の秘密を究明した理論物理学者の一人であるばかりか、自ら米大統領に向って製造を進言させたことへの深い責任感に堪えられず、程なく同様の親友である湯川君にあてて書簡を送り、核兵器廃止を目

これに承えて、湯川君は翌一九五五年に公表された「ラッセル・アインシュタイン宣言」の共同署名者に加わるにとどまらず、同様の友人である朝永振一郎・坂田昌一両君その他の科学者たち呼びかけて核兵器禁止問題の共同研究を始めると同時に、米国の篤志家の並みならぬ援助を受けて発足したパグウォッシュ国際会議に参加したり或いは日本の科学者による京都会議を招集したりする煩勞をいとわなかった。他方、日本国内の広汎な反核大衆運動は、太平洋戦争終末期の八月六日および九日、広島・長崎両市に原子爆弾が投下されてのち間もなく興起したのではなく、その被害の実相と後遺を調査し研究することを米国占領軍当局が禁止したために、いわばくすぶり続ける状態に追いやられたに反して、三・一ビキニ実験の強い衝撃に促されて、周知の通り、東京都杉並区の主婦たちが先鞭をつけて草の根市民運動を起した結果、およそ九年おくれ、燎原の火の如く反核軍縮運動が大きく全国にわたって広がって行ったのであった。

要するに、ビキニ水爆実験の意義を国内面と国際面と二つに分けながら考え併せる時、実に比類なく世界的であると思ふのである。(名古屋大学名誉教授)

平和随想 (九)

三宅泰雄



文献の整理をしていましたら、一九八一年当時の世界の軍事費と...

この軍事費は中、南米およびアフリカ諸国の国民所得に匹敵します。...

億人にも達しています。世界の軍事費は、これらの人々の所得の総額に、ほぼ等しい額です。

発展途上国の向上促進のために、先進諸国から開発援助費が贈られています。...

世界のおちこちには、多くの軍事基地が散在しています。これら軍事に占有されている土地の総面積は、フランス一国の国土面積に相当します。...

兵器の生産には、多量の金属や燃料を必要とします。その主なものとして、石油が全消費量の五、六割、銅が十一割、鉛が八割、アルミニウム、ニッケル、銀、亜鉛...

世界保健機構(WHO)は、創立以来、人類全体の健康を守るた...

白金等のそれぞれ六割が、軍事用として消費されています。わが国の軍事予算は、このところ急上昇をつづけ、今年(一九八八年度)は、一般会計歳出予算の六・五割、三兆七千億円にも達しました。...

平和憲法をもちながら、わが国もいつのまにか、世界第六位(一九八七年度)の軍事大国にのし上がりました。自衛官の数は現在約二十七万で、国家および地方公務員の総数(四七〇万、市町村を含む)の六割を占めています。...

世界には、アフリカその他の国々で、飢餓になやむ多くの人がいます。この人達を飢えから救うためには、年に四十億ドルもあれば、一応解決するだろうといわれています。...

わが国、一国の軍事費二八五億ドルでさえ、いかに膨大な金額であるかを知るために、つぎに二、三の例をあげましょう。...

め、多くの貢献をしてきました。このWHOの予算を、あと十億ドルふやしただけで、全世界、とくに貧しい国々にマラリヤ、ジフテリアなど六種の伝染病予防の注射薬を供給し、多くの子供たちの生命を救うことができます。...

また、先進国が悩んでいる産業公害も、年に五十億ドルくらいの投資で大幅に緩和されるはずですが、これら、人類全体の福祉と幸福のための出資をおろそかにし、その数十倍もの金と、さらに貴重な人的・物的資源を、惜し気もなく、軍備のために浪費しているのは、全く腑に落ちない話ではないでしょうか。...

最近の「原子科学者集報」(CERN Bulletin of the Atomic Scientists 一九八八年七月号)でも、オーデンという経済学者が「軍事費の浪費は真の国民安全を損なう」と題する論文を寄稿し、専門家の立場から、アメリカ政府をきびしく糾弾しています。...

長崎の被爆者から

これからの人類の歩む道

チェルノブイリの原発事故の際、勇敢なる消防士のごとく、テレビ等に報じられていた。

私たち原爆被爆者からみれば、えらい大変なことをしているなあと思っていました。それと云うのも放射能の恐ろしさをどれ程関係者が知っているだろうか。あとで

深堀 勝一

この人たちのなかから三十二人と云う人が犠牲者として出たというニュースを聞いたのでした。また、映写技師も死亡したとか。

戦後アメリカがネバタならびに太平洋において核実験をして人間ならびに動物までを使って被害の実態調査をテレビ等を通じて見る

ことがありました。

まあ!! なんて恐ろしいことをしているんだろうか、放射能の恐ろしさを知らないんだろうか、と私はひとりごとをくり返していたわけです。

放射能というものは人体に残留して、それがじわじわと人間の健康をむしばんで行くのが普通のパターンであって、一過性のものではないのです。また、短時間に浴

檜山副会長の逝去を悼む

三宅 泰雄

檜山さんと私とのつきあいは長い、特に親しくなったのは、一九五四年三月のビキニ事件のころからである。

この事件で、大量の魚が放射能で汚染され、すべて廃棄のやむなきにいたり、水産界は大打撃をこうむった。当時、東大水産学教授であった檜山さんは、水産界の危急を救うため、率先して、放射性魚の研究にとりくんだ。

まもなく、魚ばかりか、日本全土が放射能におおわれる事態となった。私達は、檜山さんと力を合せ、環境放射能の実態を明らかにするため、努力をかたむけた。檜山さんを委員長として、文部

省に「放射線影響研究班」を組織し、全国の関連科学者を総動員して、十数年間にわたり、研究をつづけた。

一九五五年に、我が国の提唱により、国連に「原子力放射線の影響に関する科学委員会」(通称、国連科学委員会、UNSCEAR)が設立された。檜山さんは、初期の会議には、日本代表として毎回出席し、我が国の研究業績の紹介にとめるとともに、委員会の活動に大きく貢献した。

同じ年に日本学術会議を舞台として、日米の専門家による日米放射能会議が開催された。檜山さんは、日本側の総務幹事として、会議を成功に導いた。

その後、一九六六年に第十一回太平洋学術会議が、東京で開かれた。当時、檜山さんも私も、学術会議の会員に選ばれていた。檜山さんは、太平洋学術会議の組織委員長として、参加者六

千名以上にも上る、このマンモス国際会議の大仕事を完遂した。

つぎの仕事は、放射線影響研究推進のため、研究所の新設を政府に勧告することであった。その結果、京都大学の「放射線生物研究センター」と、金沢大学の「低レベル放射線実験施設」が発足した。

本協会が設立されたのは、一九七三年のことであった。檜山さんには創立者の一人として、副会長をお願いし、創立時の困難に対処してもらった。檜山さんは、五年ほど前から体調を崩していたが、病を押して、引き続き副会長として奉仕された。

本協会も、第五福竜丸展示館も、ようやく軌道にのりはじめた今、檜山さんを失ったことは、大きい傷手である。私は半世紀にもおよぶ無二の親友と永別し、途方に暮れている。

